

新たな地域福祉の拠点として

特別養護老人ホーム

「ふくしあ」完成

昨年8月から金山地区で工事が進められていた特別養護老人ホーム「ふくしあ」が3月中旬に完成しました。

「ふくしあ」は、町や北海道の補助を受けて、社会福祉法人南富良野大乗会・竹澤喜一郎理事長が、旧金山営林署跡地に建設を進めてきたもので、鉄筋コンクリート造一部2階建て、総面積3,790.38平方メートル、総事業費、9億1,511万4千円をかけて建設されました。

が設置され、外観は、割石調タイルや木目柄の黄色や茶色の明るい色合いで、西欧の伝統的な建物をイメージさせる造りになっています。

玄関を入ると、エントランスホールがあり、右にはR状のカウンターが設置された事務室、左はデイサービスセンター「かなつぷ」の食堂兼機能訓練室になっています。建物の中央には、ガラス張りの中庭を望み、天井が高くゆとりある集会スペースとして、地域交流ホールが設置され、デイサービスレクリエーションやイベントなどに

利用されます。

地域交流ホールを囲むように、5つのユニット（居室集合体）が設置され、それぞれ「もりのまち1丁目」「かわのまち2丁目」「はなのまち3丁目」「おかのまち4丁目」「そののまち5丁目」と名称が付けられています。各ユニットには、中央にキッチンなどが設けられ、食事や談話用の共有スペースとなっており、入所者のくつろぎの場として利用されます。

居室は、すべて個室で各ユニットに10室設けられ（定員は50人）、広さは約10畳で、開放的な大きな窓と、各室にトイレと洗面所、収納室が設置されています。また、ユニットには、ヒバ造りの浴槽を備えた個人浴室が設置され、木質の個浴による良質のケアが提供されます。

施設内には、露天風呂を完備した大浴場が設置され、金山地区民主会から提供された「金山石」

も配置されています。

このほか、売店やボランティア室、家族室、医務室、歯科室、理容室なども設置されています。

「ふくしあ」を運営する南富良野大乗会では、開設に向けて、入所者の生活をお手伝いする職員を新たに30名採用し、入所者の受け入れ準備を進めています。今後は、4月11日に落成式が行われるほか、12日（13時から16時）・13日（10時から16時）には町民向けの見学会が開かれ、5月1日に開設し、入所者の皆さんの生活が始まります。

また、併設されたデイサービスセンター「かなつぷ」は、「ふくしあ」のオープンに先立ち4月から利用が開始され、運営は南富良野町社会福祉協議会が行います。

「ふくしあ」の入所受付や利用者負担額などにつきましては、特別養護老人ホームふくしあ事務室（☎38 3800）へお問い合わせください。



ふくしあ全景
ユニット出入口(もりのまち1丁目)
キッチンが配置され食事や談話などに利用する共有スペース
居室には介護用ベットや洗面所、クローゼットを設置
居室に設置されているトイレ
ヒバ造りの浴槽を備えた木質個浴
前方にステージが設置されイベントにも利用できる地域交流ホール
居酒屋風のあしらえで奥には小あがりも設置されたボランティア室
食堂と機能訓練室を兼ね備えたデイサービスルーム
大浴場に設置された露天風呂
浴槽の奥に見えるのは金山石